

令和4年12月定例会一般質問

通告 9

質問 男性用トイレへのサニタリーボックス配備について

答弁 実情に応じて設置し周知を図ります

8 番 江口 智子 議員

【質問：江口 智子 議員】

8 番、江口智子でございます。男性用トイレのサニタリーボックス配備についてお尋ねいたします。

近年、前立腺がん、膀胱がんなど男性特有のがん患者数が急激に増加しており、特に前立腺がんは、1975 年に 2,000 人ほどだったものが 2000 年には 2 万 3,000 人、2020 年には 7 万 8,000 人を超え、肺がんに次ぐ罹患数になると言われています。

前立腺の摘出手術を受けた場合、多くの方に数カ月から半年程度の尿漏れの症状が見られ、9 %の方にはその後も尿漏れが続き改善しにくいそうです。

頻尿や尿漏れのために尿漏れパッドを使用する男性も罹患者数に比例して増えています。外出先で使用済みの尿漏れパッドを捨てる場所がなく、自宅に持ち帰るまで臭いや漏れに神経を使うなど、人知れず苦勞している方が多く、私の父も前立腺摘出後は紙おむつやパッドを使用していますので、その気苦勞は間近に見聞きをしています。

また、がん以外にも加齢による尿漏れやトランスジェンダーで生理がある人など、さまざまな状況で男性用個室で尿漏れパッドやナプキンを使用する場合も、サニタリーボックスがないことで不便を感じるものの、こうした問題は当事者も言い出しにくく表面化しにくいことが特徴です。

高齢者や疾患を持つ方で尿漏れパッドなどを使用している方が処理に困ることなく、どこでも快適にトイレが使用できるよう、男子トイレのサニタリーボックスを公共施設のトイレに配備することを検討するとともに、民間の施設や商業施設などでの配置を普及するよう、町全体の取り組みとすべく、広く啓発を行うなど対応を検討してはと考えますが、町長の考えをお聞かせください。



【答弁：町長】

江口議員御質問の男性用トイレのサニタリーボックス配備について御答弁申し上げます。

前立腺がんや膀胱がんの手術後に、頻尿や尿漏れの症状が起きやすく、尿漏れパッドを着用する男性が増えている中で、外出するにも神経を使い、使用済みパッドをどう処理したらよいのか、苦勞されている状況が理解できました。

サニタリーボックスの設置の状況については、町の公共施設の中で多目的トイレが設置されている施設では、サニタリーボックスが設置をされております。

さらに男性用個室トイレにおいては、本庁舎や総合文化会館、総合体育館等ではサニタリーボックスを設置しておりますが、全施設での男性用個室トイレへの完備には至っていない状況でございます。

今後こういった症状でお悩みの方が安心して外出できるよう、町の公共施設の男子用個室トイレにサニタリーボックスの設置を進めていきたいと思っております。

ただ、施設の中には男性用個室トイレの広さに余裕のない場所もございますので、施設管理などの面の実情に応じて設置していきたいと考えております。

また、町の公共施設での設置事例を提示したうえで、民間施設や商業施設の設置につきまして、御協力いただけるよう、呼びかけなどを行っていきたいと考えておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。